

《罪があるからこそ、イエス様に出会える》

今日の福音(ルカ7:36-50)は、ただ読むだけ、聞くだけで、ものすごく感動的なイエス様のみ心が分かる内容だと思います。

今まで私は、赦しという言葉について、何回も繰り返し話してきました。今まではいつも、赦す立場、赦さなければならない私たち信者の立場から話してきました。しかし今日は、逆の観点から見てみたいと思います。赦されない罪を犯したと思われる人々の心に触れてみます。

皆様はたぶん、赦されない罪を犯したとは思っていないでしょう。もしかすると、そのようなことで悩んだ経験があるかもしれませんが、たぶんその方は赦しの秘跡を受けられ、軽くなった気持ちを体験なさったと思います。「赦されない」と思うとき、人はどんな気持ちになるのでしょうか。もし皆様が、「赦されない罪を犯した」と思っているとしたら、どのように感じるのでしょうか。たとえば、子どものときに友達にいたずらをして、その友達から「もう二度とつきあいたくない」と言われたら、どのような気持ちになるのでしょうか。

さあ、今日の福音を読みますと、「罪深い女」のことが書かれていますね。その女性は、イエス様の足元に近寄り、イエス様の足を涙でぬらして自分の髪の毛で拭い、その足に接吻して、高価な香油を塗ったと書かれています。そしてその後、イエス様は周りのファリサイ派の人に言います。「私が来たとき、あなたは足を洗う水さえくれなかった。何もしてくれなかった。しかし、彼女は自分の愛によって、私にこのような姿を見せてくれた。たくさん赦される者は、愛することも多くなる。少ししか赦されない者は、愛することも少ない。」と。

皆様、私たちは信仰が進めば進むほど、感じられる罪も大きくなります。「私は犯した罪がない」というのは、まだまだ本当の信仰の味が分かっていないのです。ということは、もし、その感じられる罪を「赦された」と感じる機会が、たくさんあればあるほど、イエス様に対しての愛や感謝の心が計り知れないほど大きくなるのではないでしょう。カトリックの2000年間の歴史を振り返ってみますと、聖人と呼ばれる人々は必ず自ら「私は罪人です。」と口にし、そのような生き方を見せてくださいました。「私は罪を犯したことはありません。」と言うのは、ある意味では自然な私たちの反応かもしれません。しかし、「赦されない罪を犯したにもかかわらず、イエス様はいつも私を赦してくださいました。」という霊的な体験ができれば、私たちは本当に感謝の心でその罪に対しての償いを果たそうと頑張ると思います。

はっきり申しあげます。私たちは罪人です。このことから逃げられる人はいません。罪人です。その罪があるからこそ、イエス様に出会えることを私たちは意識しなければならないと思います。

もう一つ今日の福音を読んで思ったことです。テレビを見てみると、数日前から大騒ぎになっていることがあります。覚せい剤を使ったタレントをマスコミが、精神的に追い詰めて殺しているのです。一度追い詰めたことを何回も繰り返し追い詰めて、精神的に殺しています。覚せい剤を使ったことは、法律にも違反になるし、道徳的にもよくないことはみんな分かっています。彼女がそのような罪を犯したとしましょう。そのような罪を犯した人を見る私たちの目は、どうでしょうか。社会の流れはどうでしょうか。

皆様、この流れに絶対流されないようにお願いします。マスコミは、お金のためにいろいろな番組

を作ります。毎日毎日、何がそんなに大事なことだと思って、同じ人の保釈される姿まで、何時間も生放送で見せるのでしょうか。皆様、そういうことに流されないようにお願いします。

その人が大きいお辞儀をしながら謝る姿に、アナウンサーたちがおおげさに話している気がして少し悲しくなりました。4、5秒位、頭を下げて、記者達の前で悲しい顔を見せながら、「すみません」と謝り、用意された車に入る姿が放映されました。その人は、そのような環境で本当に自分の罪を感じられるのか、と思いました。本当にその人が罪を犯したのならば、自分がどのような罪に陥ったのか、自分で分かるように、そして何とか新しく立ち上げられるように導くのが正しいのではないのでしょうか。

今、全世界的に覚せい剤を使用している人はたくさんいます。ただ、タレントであり、有名人であるために、そのように残酷に扱われるのは、私は正しくないと思います。

皆様、この世の中はお金によって動いています。商売をする人は、お金にならないことは、絶対に求めません。その中で、「おもしろい」と言いながら流されないようにお願いします。

彼女にも神様の計画があります。神様も罰しないものをなぜ人間がそのように残酷に罰するのでしょうか。彼女の個人的なことを私は何も知りませんが、客観的に見て、私たちはそういう部分は避けなければならないと思ってみました。

私たちはいつも赦されています。赦されているということは、私も相手を赦さなければならない、ということをついつも心に置きましょう。

ありがとうございました。